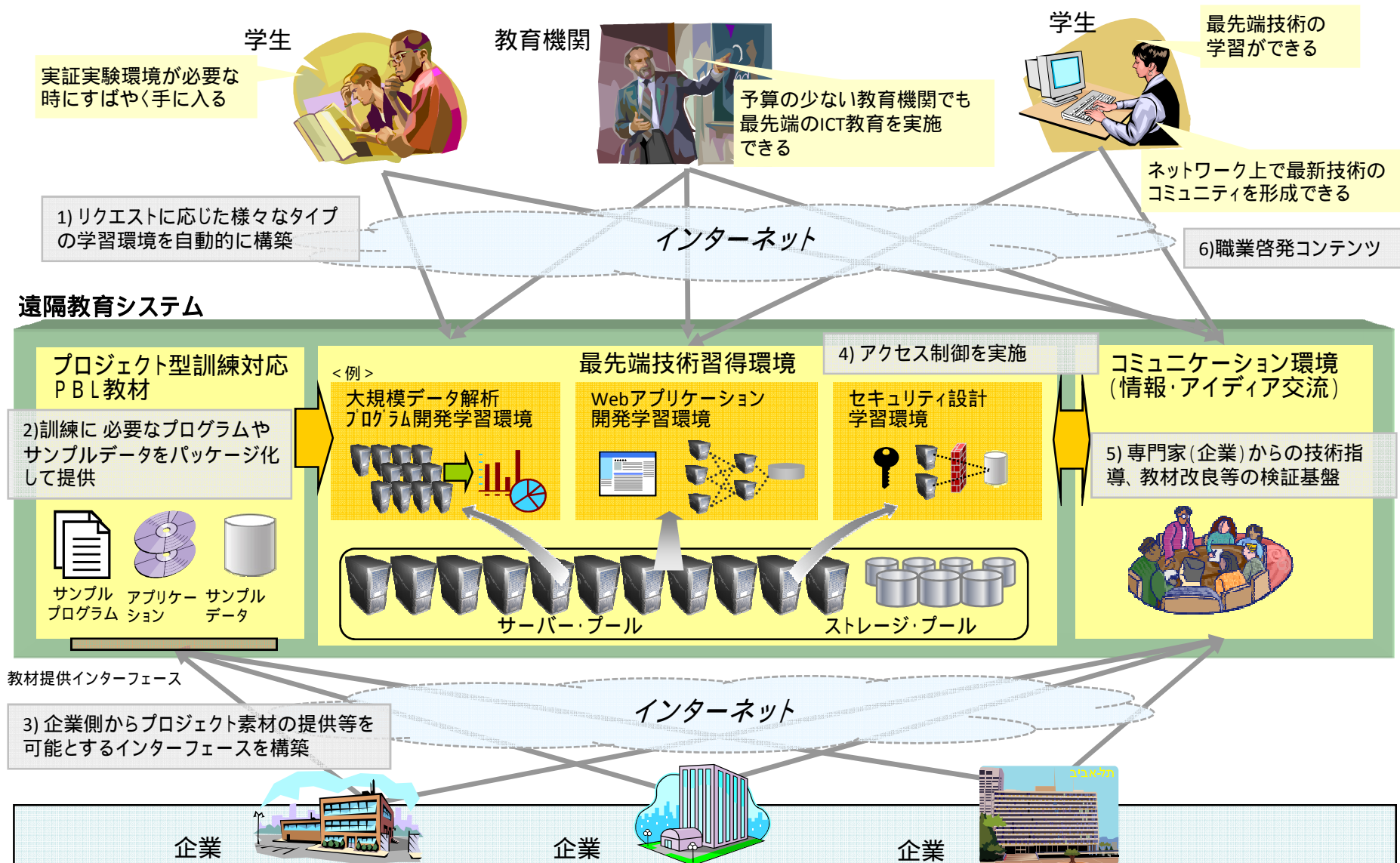


総務省の平成22年度予算(案)について

平成22年1月27日

総務省情報流通行政局
情報通信利用促進課

最先端ネットワーク技術を活用した遠隔教育システムの開発・実証



注) 大規模データ解析プログラム開発学習環境: 複数のサーバーを組み合わせ大規模データ解析を行うための分析プログラム開発手法について学習する環境(学習に必要なCPU、OS、ストレージ、アプリケーション等を利用できる環境)
 Webアプリケーション開発学習環境: 開発言語を用いて、Webアプリケーションの開発について学習する環境
 セキュリティ設計学習環境: ファイアウォールの設定やユーザーIDの一括管理などのセキュリティ関連技術やセキュリティ・システムの設計について学習する環境
 サーバープール、ストレージプール: 複数のユーザーからのリクエストに応じ、最先端技術習得環境に対し動的に割り当てることができるよう予め用意された複数のサーバー及びストレージ(外部記憶装置)

最先端ネットワーク技術を活用した遠隔教育システムの開発・実証

具体的取組

- 最先端技術習得のための実践的訓練を可能とする環境整備
 - ・ネットワークを通じて、必要なPBL環境を必要なときに高等教育機関のリクエストに応じて提供する
 - ・プロジェクト実施に必要なPBL教材、情報・アイデア交流等のためのコミュニケーション基盤

具体的効果

- 最先端技術を用いた実践的訓練の実施により、高度情報通信人材に厚みが増すとともにレベルアップが図られることにより、我が国の国際競争力確保が実現
- 資金の少ない高等教育機関においても、これまで大企業や大規模研究機関でしか触れる機会がなかった最新技術に触れることが可能となり、人材育成機会の拡大が実現
- ネットワークを活用した基盤を形成することにより、全国各地から基盤へのアクセスが可能となり、高度情報通信人材育成の機会が全国に提供され、地域格差解消が実現

開発項目等

- 開発項目
遠隔でのシステム開発演習環境の設定・管理、PBL教材の改良
- 平成22年度予定額1.7億円(平成21年度予算額2.8億円)